

鈴鹿日常生活自立支援センター 及び 鈴鹿市後見サポートセンターみらい 運営状況

1. 鈴鹿日常生活自立支援センターの運営(三重県社会福祉協議会より受託)

(1) 令和4年度利用実績

	利用区分	利用件数	相談件数	契約件数	解約件数
1	認知症高齢者	40 件	906件	9 件	8 件
2	知的障がい者	61 件	1,670 件	10 件	4 件
3	精神障がい者	89 件	1,601 件	20 件	4 件
4	その他	17 件	304件	0 件	2 件
	合計	207 件	4,481 件	39 件	16 件

(2) 実施体制

- ・専門員 4 名(兼務職員 2 名・事務補助員 1 名)・専門員対応支援 483 回
- ・生活支援員活動人数 15 名・生活支援員支援回数 延べ 4,835 回

2. 鈴鹿市後見サポートセンターみらいの運営(鈴鹿市より受託)

(1) 成年後見制度についての相談受付

- ・相談件数 208 件(内、新規相談 106 件、継続相談 102 件)
- ・相談内容/金銭管理、財産管理、金融機関の手続き、不動産の処分、消費者被害、相続、債務整理、任意後見、後見人等支援について

(2) 啓発活動の企画・開催

- ・出前講座・研修会(講師対応)の実施

講座・研修会	開催日	講座・研修会	開催日
鈴鹿ふくし大学	5/11	権利擁護講演会	12/2
民児協(一ノ宮地区)定例会	8/10	基礎から学べる権利擁護入門講座	1/17
アルツハイマーデーイベント	9/22	市民向け成年後見講座	1/20・1/28
空き家相談会	10/8	鈴鹿市法福官連携権利擁護研修会	2/21
鈴鹿市職員勉強会	10/14	ケアマネ情報交換会・サロン等	年 5 回実施
当事者団体(こんぺいとう)勉強会	11/29・12/15		

(3) 法人後見の受任調整

- ・受任件数 4 件(後見類型 3 件、保佐類型 1 件)

(4) 運営委員会の開催

- ・年 4 回開催(令和 4 年 7 月 14 日・9 月 29 日・12 月 15 日・令和 5 年 3 月 2 日)
- ・運営委員 藤原 芳朗氏(鈴鹿医療科学大学)・庄山 哲也氏(三重弁護士会)・安田 成仁氏(成年後見センターリーガルサポート三重支部)・森本 義典氏(鈴鹿市医師会)・真鈴川 聡氏(鈴鹿市医師会)・柴田 隆行氏(三重県社会福祉士会ぱあとなあみえ)・長尾 浩幸氏(鈴鹿市社会福祉事務所)

(5) 中核機関の管理・運営

・権利擁護ネットワーク会議の開催

権利擁護事業に係る福祉専門職、法律専門職、行政機関との連携を強化するため、定期的に会議を開催し、「鈴鹿市法福官連携権利擁護研修会」の企画開催や市民向けの権利擁護に関する啓発物の作成を行い、地域における協議会の役割を担う。

・基礎から学べる権利擁護講座の実施

福祉職に従事する新任の方や権利擁護について基礎から学びたい方等が権利擁護に関する基礎知識を習得し、相談者やその家族の方に権利擁護に関する制度や事業を有効に活用していただくことを目的として実施。

・市民向け成年後見入門講座の実施

市民に対する成年後見制度の普及啓発と、今後の鈴鹿市における権利擁護の担い手(親族後見人等)の養成を図る。

・成年後見推進に向けた課題解決会議(三重県社協主催)の参加

成年後見制度に関する広域(県域)課題について他市町社協と協議(年5回開催)

(6) エンディングノート(人生ノート)の周知啓発

・鈴鹿ふくし大学(令和4年5月11日) 配布数 300部

・土師地区サロン「遊心クラブ」勉強会(令和4年10月12日) 配布数 30部

・権利擁護講演会(令和4年12月2日) 配布数 300部

・第4・5地域包括合同ケアマネ情報交換会(令和4年12月14日)ダウンロード配布

・令和4年度については、企業と協働しエンディングノート(人生ノート)に広告を入れて、幅広く地域住民に啓発を行った。

・地域型地域包括支援センター(8包括)にも常時50部を設置し、配布を行っている。